指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市黒川青少年野外活動センター	評価対象年度	平成25年度		
事業者名	・事業者名 特定非営利活動法人 国際自然大学校 ・代表者名 理事長 佐藤 初雄 ・所在地 東京都狛江市岩戸北4-17-11	評価者	青少年育成課長		
指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課		

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 27,741人	②年間延べ利用団体数 789団体
収支実績	1 収入 指定管理料 その他 2 支出 人件費・賃金 光熱,費 資料 香港 消耗 香 計 3 差引	単位:円 24,000,000 5,898,060 29,898,060 15,506,205 1,718,717 4,706,369 4,570,558 665,468 2,318,591 29,485,908
サービス向上の取組	利用団体等からの指導依頼を受けてプログラムを技 する技術や情報が集約されるセンターとして機能の	是供するなど、専門性が十分に発揮され、野外活動に関 充実が図られていた。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	3	3
		計画どおり事業が実施されているか	υ		
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	5	5
	(評価の理由) 概ね計画どおりの事業が実施されていた。 利用者数は昨年度より4.0%減少したが、第1期指定管理時と比較して31.2%の増となった。 【参考】第1期指定管理時(平成18年度~平成20年度)年度平均利用者数:21,144人				
	適切な金銭管 理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5 3		3
収支計画・実績	効率的・効果的 な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	4	8
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組がなされているか			
7/34		・ 適正な会計処理が行われた。 『ログラムが中止になり自主事業収入が減ったが、経費の節減を図り黒字を計上した	0		

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広 報	施設や事業が積極的に広報されているか			
		広報の方法に工夫が見られるか	5	4	4
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機 関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか		4	8
		把握したニーズが事業運営へ反映されているか	10		
	(評価の理由) ホームページの更新を頻繁に行い、ブログでは写真を多く掲載することで日々の活動の様子を伝えるよう努めており、市政だよりへのエントリーも積極的に行っている。 利用者に対する接遇について、適切に対応をしていた。 事業実施に当たり近隣の小中学校や地域住民との連携を図って、黒川の里山保全活動を行っている。また、教職員向けに体験会を行うことで、学校団体利用の当日に教職員が指導できるようにしている。 利用者アンケートなどの意見を事業に反映しており、近隣の中学生による音楽会の実施や、PTAからの講演依頼等にも積極的に応じている。また、気軽に利用者が意見を寄せられるよう、ホームページのトップページにメールアドレスを問い合わせ先として掲載している。				
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか 事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか	10	3	6
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3
	個人情報等の取 扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
	(評価の理由) 十分な経験と知識のある人材を活用するなど計画どおりの人員配置を行い、資格取得講習会には職員も受講させ専門的な技術とスキルを身につけるなど、予定どおりの研修が実施された。 また、個人情報の取扱いについて、職員だけではなくボランティアスタッフに対しても、適切な運用についての指導を行った。				
	義出	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適 切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確 保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	-	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか	5		
適正	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	_	3	3
正な業務実施		緊急時のマニュアル等が整備されているか	5		
	災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3
		災害発生時のマニュアル等が整備されているか	ე		
	(評価の理由) 施設点検シートを作成し、修繕の必要な箇所を把握し、適正な修繕に努めた。 事故等が発生した場合のマニュアルが整備され、適切な対応がなされていた。 防犯に係る緊急時のマニュアルが整備されており、計画にある防犯のための取組が実施されていた。 災害発生時のマニュアルが整備されており、法定訓練等が実施されていた。				

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

4. 総合評価

評価点合計 評価ランク С

注)評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価 A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、 C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、 E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

ホームページやタウン誌等の媒体の活用に加え、新たな広報媒体を開拓するなど、広報の充実に努め、また、既存の事業に工夫を加 え、乳幼児親子向け事業等の新規展開を図っている。また、学校や行政との連携を行い、地域により一層溶け込んで事業を展開した。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

次期指定管理期間においても引き続き、多くの市民に黒川の自然の中での野外活動等を体験してもらえる環境を維持し、事業の一 層の工夫を図ること。